

仙人通信 133 三国山(1320 m) 高指山(1174 m)

山中湖を取り巻く山である三国山・明神山・高指山は富士山の東側に位置して、富士山を眺めながらノンビリと歩ける山である。

小山町と山中湖を結ぶ県道の三国峠にある5台ほどの駐車スペースに車を置いて、山梨と神奈川の県境にある三国山のピストンと高指山までのピストンを計画した。

三国山は甲斐・相模・駿河の国の境から命名された山である。富士山の火山灰の上に作

られた登山道は、腰丈程のミヤコザサで覆われた階段からのスタートである。積雪の心配もよそに、融けて1cm程に成長した霜柱を踏んで10分程進むと、笹に代わりブナの落ち葉に埋もれたコースとなり、緑のスギゴケも印象的だ。右手にブナの梢越しに山中湖が僅かに顔を出す。落ち葉に埋もれたコースを確認しながら登ること、25分程で山頂である。梢越しには、御殿場の街とスピードウエーが望めるも富士山から棚引いた雲で、箱根は見えない。山頂から15分程で車に戻り、道路を挟んで反対側の明神山と高指山に向かう。神奈川と山梨の県境上を進むコースだ。明神山はかつて『鉄砲木の頭』と呼ばれていたが、諏訪明神が祀られた事に由来する山である。山中湖側は萱の原でパノラマ台としても有名である。神奈川側は唐松・ブナ・ウツギや棘のあるサンショウバラやメギそして黄色い実のウメモドキと対象的である。火山灰のコースは『東海自然道』で、訪れる人も多い事から、V字状に掘れ・霜柱で滑る。ふと見ると一株のボケが赤い花を付けており、心を和ませる。

10分ほどで薄の上に山中湖、そして見事な富士山である。ノンビリと25分かけて山頂に立つ。目の先には御正体山・石割山そして白いホテルまでの尾根が、後に鹿留山・杓子山が、その後ろには、アンテナの立つ三峠から4月に登った三方分山が……。雲海が広がる上には、白い甲斐駒・黒い鳳凰三山、そして真っ白な北岳から赤石岳が富士山の北側に広がる。最高のパノラマだ。コースは萱から離れて山梨側はブナの林と檜で覆われた神奈川側の間を緩やかに下降し、2つ目のピークからは切通峠までの急降下である。山頂より200m低い峠で黒い火山灰が削られた、赤茶色のローム層だ。平野と丹沢湖のある世附を結ぶ峠道であり鞍部を切り開いた事から名付けられたようだ。これより山梨側は再び萱の原となり高指山を目指す。平野からの2つのコースとの出会いがあり、切通峠から約40分で山頂に到着である。高指山は明神山より北側で、1174mと低い、平野地区とその先に山中湖が大きく眺め、白い白鳥の形をした遊覧船が……。その先に富士山が見事である。帰路の明神山近くの檜林の間からは、青い丹沢湖が……。その上に檜洞丸と蛭ヶ岳も眺めた。のんびりと丁度5時間(21000歩)の、心満たされる山旅でした。(h 27. 12. 22)

三国山山頂



高指山山頂



富士山と南アルプス(明神山から)

